

五十五万石

近畿税理士会和歌山支部

発行

和歌山市湊通丁北1丁目1-3

TEL.426-3600 FAX.424-1474

<http://www2.kinzei.or.jp/~wakayama/>



初日の出フライト

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇目

次◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

- 新年のご挨拶…………… 2
- 和歌山支部親睦旅行…………… 3
- 今年の年男・年女…………… 4

- 支部行事風景…………… 7
- 新入会員等紹介…………… 8

新年のご挨拶



和歌山支部長 齋藤恒明

新年あけましておめでとうございます。
平成25年の年頭にあたり、支部会員の諸先生方に謹んで新年のお慶びを申し上げます。
平素、先生方には支部の会務運営に対しまして深いご理解と暖かいご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。
ところで、近年の日本経済は平成19年のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融危機、また平成22年にはギリシャの債務問題によるヨーロッパの金融不安、さらに平成23年には東日本大震災と立て続けに大きな打撃を受けてきました。
加えて、アジア諸国等の急激な台頭により特に家電メーカーがその煽りを受け、かつて世界に誇った巨大企業が多額の赤字運営に陥るなど、日本経済は先行き不透明な状況にあります。
そうした中、昨年末には衆議院の解散総選挙が行われたところでもあります。
近年の我が国は、政治的にもまた経済的にも混迷を続けており、昨年の総選挙においてはそれを象徴するかのよう多数の政党が乱立し、大きな争点は消費税・原発・TPPであって、いずれの問題も今回の総選挙により与党となった自民党の的確な舵取りが、強く望まれるところがあります。
さて、私たち現執行部の任期も余すところ約半年となりましたが、年頭にあたり今後の会務について昨年に引き続き次の3点についてお願いいたします。
1点目は、国税電子申告・納税システム（e-Tax）についてであります。
国税電子申告については、会員先生方のご尽力によりかなりの普及拡大が見られますが、納税システムであるダイレクト納付の普及が低調となっております。
国税電子申告とダイレクト納付はいわば車の両輪の関係にあります。
先生方には、国税電子申告について更なる普及拡大にご尽力いただくとともに、ダイレクト納付の普及拡大についても一層のご尽力をお願いいたします。
2点目は、36時間研修の受講についてであります。
研修の目的は、税理士の業務改善・進歩及びその資質向上を図るものであり、積極的な受講をお願いいたします。
3点目は、書面添付の実践についてであります。
書面添付制度は税理士法第1条に規定の、税理士の公共的使命を実務上で具体的に実践していることを表明するものであり、税理士だけに認められた権利であります。
是非、多くの先生方に取り組んでいただくようお願いいたします。
今年も例年と同様に地区納税相談等で多くの先生方に従事していただくこととなりますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。
最後になりましたが、先生方にとりまして本年がさらに幸多き年であることをご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新年のごあいさつ



和歌山税務署長 奥田浩二

新年明けましておめでとうございます。
平成25年の年頭に当たり、近畿税理士会和歌山支部の先生方に謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
先生方には、平素から税務行政に対しまして深いご理解と温かいご支援を賜っており、心から厚くお礼申し上げます。とりわけ旧年中には、ダイレクト納付の利用勧奨に多大なご協力を賜り、誠に有難く重ねてお礼を申し上げます。
ところで、昨今の税務行政を取り巻く環境は、経済取引の広域化や経済社会の国際化・高度情報化の進展などにより一層複雑・困難化している上に、社会保障と税の一体改革が議論されるなど、国民の皆様の税に対する関心はますます高まっております。
このような中、私どもの任務である「適正・公平な課税と徴収の実現」や「納税者利便の向上」を図るため、国税電子申告・納税システム（e-Tax）の普及拡大やホームページを活用した税情報の提供、書面添付制度の普及・定着をはじめ様々な施策に取り組んでいるところでもあります。
特に、e-Taxの普及拡大につきましては、お陰をもちまして利用件数も着実に増加しておりますが、現在のパソコン普及率を考えるとまだまだe-Taxも伸びる余地が残っているものと思われま。今年から、贈与税の申告にもご利用いただけるようになるなど、e-Tax推進のためには、これまで以上に先生方の更なるご協力が不可欠でございます。
中でも、1月末提出期限の法定調書のe-Taxにつきましては、添付書類が不要で比較的容易に利用できる手続きとなっておりますので、是非、ご利用いただきますようお願い申し上げます。
また、ダイレクト納付につきましても、昨年に引き続き、関与先への利用勧奨にお力添えを賜りますよう重ねてお願い申し上げます。
さて、程なく、平成24年分の確定申告期を迎えることとなります。本年も昨年同様、e-Taxの普及拡大を踏まえた申告相談体制により、従来以上にパソコンの習熟度に応じた自書申告の推進を図り、その利便性を体感していただくことで、自宅等からのICTを利用した申告等を推進できるよう全職員が力を合わせて確定申告期を乗り切ってまいりたいと考えております。
確定申告期間中、先生方には、申告指導などにご支援をいただくこととなっておりますが、本年も、昨年が変わらぬお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。
結びに当たり、新しい年が近畿税理士会和歌山支部のますますのご発展と、会員の先生方はもとよりご家族皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

『金沢・ひがし茶屋街散策と山代温泉旅行』に参加して 大住 文夫



私がバスに乗り込んだのは、JR 和歌山駅東口（旧愛染蔵前）、税理士会館スタートで、わずか10分～15分経過のはずなのに、「なんと！！」すでに後部サロン席では自前の焼酎ボトルがオープンで、K・M両先生の宴会模様は佳境のご様子。

お酒が飲めない私は、なじめない空気の中奥の席に・・・、そんなことないか？ エネルギッシュな、そしてやかましい後部座席に、きっと前方の方々には「迷惑千万！」まっ！いつものパターンか。

近畿自動車道～新しく出来た第2京阪、京滋バイパスのおかげで、あっという間に昼食場所の長浜へ、食事のあと黒壁ガラス館等の見学をし、一路山代温泉へ。北陸・加賀の市街地に大きな旅館がいくつか立ち並ぶ温泉街の少し離れたところにある「ゆのくに天祥」に4時過ぎの到着、「案外早かった！」。ゆっくりお風呂に入って、豪華な豪華な夕食（メニューは秘密）で、至福のひと時でした。

翌日あさ6時に日課のお散歩、ホテルのスタッフに散歩コースを確認すると「明治時代の総湯（大衆浴場）が、2年前に復元されているからそこがいいよ」と教えて頂き「いざ！」。新しいけど道後温泉本館のような歴史を感じ、「えへへ～朝起きは三文の得だね！」。

朝9時に出発して間もなく、本日の観光第1段「日本自動車博物館」に到着。昭和の我が青春時代に一斉風靡した乗用車がいっぱい展示されていた。「ジャガーじゃが飲むのもフォードほどに～♪」と無意識に、小林旭の「自動車ショー歌」を口ずさんでいた。

このあと、金沢のひがし茶屋街へ。江戸時代の風情ある街並み散策と、当時のお茶屋の様子を見学「なんかいいですね～」とっていると、表通りに江戸時代を再現したかのように、近くの神社で結婚式をすませた綿帽子姿の花嫁行列が、「ラッキー！」写真をパチリ。

仕上げは、能登牛ステーキの昼食で「アー楽しかった！おいしかった！」。

お世話いただいた支部長始め厚生担当副支部長、役員の方々がありがとうございました。



平成24年10月5日(金)・6日(土)
和歌山支部 親睦旅行

今年の年男

72歳で思うこと

西岡 義高

巳年生まれの72歳、今年はいよいよ年男となりました。還暦祝いがほんの数年前の事のように思い返されるのですが、あれからまた12年が経過したわけで、月日の経つのは本当に早いものです。年を重ねるにつれ“光陰矢のごとし”という諺を実感してしまう今日この頃。気力・体力が以前に比べて衰えてきたのも事実。見かけは健康そうであっても、悲しいかな現在はいくつかの診療科に通う毎日を過ごしております。

私は70歳を超えた今も以前同様毎日午前8時30分には出社し、午後5時30分まで仕事をしています。加えて、雨の降る日や夕刻の飲み会がある日を除き、毎日午前6時から1時間、午後6時から1時間の合計2時間を早足のウォーキングをする事で健康維持に心掛けています。

このように書くと非常に勤勉で規則正しい生活を送っているように聞こえるかも知れませんが、ここ10年程前からは趣味の旅行と海釣りに興じておりまして、実際のところは仕事半分、趣味半分といったバランスで生活が成り立っています。

例えば日程調整が叶えば国内、海外問わずほぼ毎月どこかに旅行をし、そして週末には加太の海へボートを出して海釣りに…、こんな風に何となく忙しい日々を過ごしているのです。周囲からは年も年だからもう少し旅行も釣りも控えた方が良くとの忠告もされますが、残り少ない人生、体力の続く限り今の生活を続けて行く事が理想なのです。

さて税理士会和歌山支部会報“五十五万石”への寄稿として、私の近況報告ばかりとなってしまい申し訳ありません。

税理士西岡はかつてのようには仕事への意欲、知識の吸収力もなくなってきたかも知れません。



実際、税法改正等も書類に目を通すのみとなりました。実務の99%は事務所スタッフに任せ、時折意見を求められるといった日々を過ごしているわけですが、ただ事務所経営の大枠を決定し指示を出す事だけは、他の誰でもない自分自身の役割と考え、行動しております。税理士としては落第生かもしれませんが、経営者としてもうあと少し、次の世代に引継いで元気な内に引退できればと願う今日この頃です。

次の巳年、84歳までというのはさすがに自信がございませんが、今しばらく宜しくお願い致します。

年頭にあたり

橋本 義彦

明けましておめでとうございます。

支部会員の先生方には、健やかな新年をお迎えのことと存じます。

本年は、干支でいえば「巳」。

釈迦に説法ではありませんが、干支とは、十干十二支（じっかんじゅうにし）のところで、十干は、古代中国で順序を示す、「甲（こう）」「乙（おつ）」「丙（へい）」「丁（てい）」……。十干に、木・火・土・金・水という五行の思想が加わり陽の気「え（兄）」、陰の気「と（弟）」を一組として、順に「木の兄（きのえ）」で「甲（きのえ）」、「木の弟（きのと）」で「乙（きのと）」などと配され、この時の陽と陰の「え（兄）」と「と（弟）」から、十干を「えと」と呼ぶようになったとのこと。さらに、この十干に中国の暦法で天を十二の動物「子」「丑」「寅」「卯」「辰」「巳」……に当てた「十二支」が組み合わせられ、「十干十二支」として用いられるようになり、「十干（十干十二支）」が「えと」と呼ばれるようになったとのことである。

因みに、ネズミが牛の背中に乗って一番に入ったから一番目になったとか、猫はネズミに騙されたから干支に入っていないというのは後世に作られた話で、干支に動物が割り当てられた由来ではない、とのことである。

恥ずかしながら、この原稿を書き始めて「えと」の由来を知ることができました。

ところで、私事になりますが、大学卒業の後、社会人として第一の人生を国税局勤務32年、平成20年に税理士として第二の人生を歩み始め、先輩

今年の年男

諸氏、縁があり巡り合った方々に多大なご迷惑をかけながらではありますが、本年で5回目の正月を無事迎えることが出来ました。さらには、還暦といわれる、60回目の誕生日を迎えます。

世間では、「ヘビ」の縁起話としては執念深いとされていますが恩を忘れず、助けてくれた人には、恩返しを行うと言われてます。

私もヘビ年生まれの人として、この縁起話に因んで「恩返し」を自分自身のこれからの人生訓として、最終章に至るまでの年月をお世話・ご迷惑をおかけした方々へ少しでも恩返しができるよう、本年を、第三の人生のスタートと位置付けし、「報恩元年」として頑張っていきたいと心新たにしているところであります。

結びに、これからが寒さも一段と厳しくなり、併せて業務も最繁忙期を迎えることとなります。

支部会員の先生方には、健康にご留意され、益々ご活躍されますことを祈念して新年の挨拶とさせていただきます。



巳年生まれの方は、22名です。

	男	女	計
昭和 4年	7	1	
16年	4		
28年	3	1	
40年	4	1	
52年	1		
	19	3	22



四回目の年男をむかえて

坂本 忠進

早いもので4回目の年男を迎えることになったようです。

3回目の時とは明らかに違うのが体力面です。

もともとスポーツは全般的にソコソコこなせるつもりでいましたが、ここ最近の体たらくぶりかというと、ゴルフは飛ばず、飛距離にして30ヤード減。野球に至っては打っては空振り、守ってはお手玉。軟式野球からは撤退し、今ではソフトボール。だんだん出来るスポーツが減っていき、このままでは散歩だけが趣味になってしまいそうで怖い今日この頃です。

20歳の成人時には身長178cm体重60kg。現在はというと身長はそのまま体重は20kgの増加。このままではいかんという仲間が集まり、高校時代の同級生でソフトボールチームを結成したのが5年前になります。月に最低1回は練習に試合にと勤しんでいます。チーム名は『Star Woods 59ers』。どこかのフットボールチームのような名前とよく言われますが、星林高校昭和59年3月卒業ということで命名しました。メンバーはユニフォーム組が18名、その他スポット参加や飲み会等のメールメンバーが約20名。現在の活動状況は、土曜日のナイターが中心で、毎回の参加者は12~13名と試合をするメンバーとしては十分な集まりです。結成して5年目。結成当時は野球部の甲子園メンバーもいてなかなかの戦績だったはずですが、年々勝率は下降していきます。最近の戦績はというと、相手にもよりますがほぼ5割の勝率。ただ、一回り以上年下のチームとの戦いでは8割方守備で心が折れそうになる時もあります。試合後にはビールを浴びて、紫煙をくゆらせて、少しの運動の成果も相殺されてしまいますが、そんな中でも楽しくやられているのは、同級生という気の置けないメンバーならではのところですよ。

年をとってからも健康な生活を送るためには、一般に「タバコを吸わない」「肥満を防ぐ」「定期的に運動をする」の3つの条件を守ることが重要と言われています。不惑が過ぎ、知命にさしかかろうという今、まだまだ悟りの境地とはいきませんが、5回目の年男までには条件に合わせた人物

今年の年男

になりたいものです。

最後に、仕事への目標はないのかと言われそうですが、日々の生活への充実感、満足感を得ることが仕事への活力となると考えておりますので、あしからず。

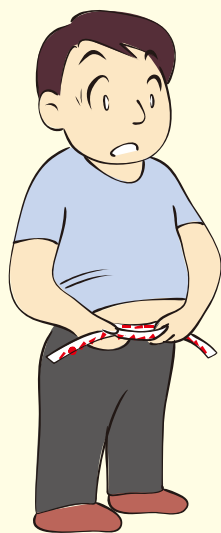


新年の目標

山口 智己

明けましておめでとうございます。この五十五万石が発行されている時には、この新年の挨拶が交わされていると思います。幼い頃に大人の人から聞かされた「年をとると1年があっという間に過ぎていく」ということを身をもって体験している今日この頃です。

又、平成25年は早くも4回目の年男を迎えることとなります。振り返っても48年間も生きてきたという実感は全く有りません。しかし、おかしなことに体年齢は実年齢以上の53歳と診断されてしまいました。



というのは、ある時の血液検査の結果、GOTとGPTという聞いたこともない項目に異常な数値が付けられて帰ってきました。私は酒を一滴も飲みません（飲めません）ので医師の話では、「間違いなく脂肪肝で、このままいけば5年後には必ず肝硬変になる」というイヤなお墨付きをもらいました。税理士試験の

受験開始からスポーツはおろか箸やペンより重いものを持ったことがない生活を送っていたのですが、この脅し文句にはさすがにビビリ、アフター5にジム通いすることになりました。週に3回から5回、2時間から3時間頑張っているのですが、体重計は思うような動きをしてくれません。ほぼ現状維持が精一杯です。そのジムに最近導入された最新の体脂肪計で測定してもらった結果が体年齢53歳です。そこで平成25年の年男としての目標は「体年齢を実年齢の48歳にもっていく」ことにしてがんばりたいと思います。

あと、先にも書きましたが、私は一切お酒を飲めません。ですから、忘年会や新陸会といった会合に出席するのがすごく苦手です。たまに、出席させて頂くのですが、その席で、目上の先生方や税務署の方々がお酌に回ってきて下さいます。本来であれば若輩者の私の方が足を運ぶべき処なのですが、お酌に回ると必ずご返杯されます。しかし、それを受けることができませんので、つつい席の隅の方で小さくなっております。この場をおかりし失礼をお詫びし、ご理解頂けますよう、よろしくお願い致します。

汽車の旅

加藤 匠

息子が電車好きである。貴志川線の線路脇で、通り過ぎる電車に毎日のように手を振っている。やさしい運転手さんは手を振り返してくれるそうだ。そんな息子に喜んでもらおうと、SLやまぐち号に乗れるツアーに参加した。

SLやまぐち号は、新山口駅から津和野駅の間62.9kmを約2時間かけて走る蒸気機関車である。運行期間は、3月中旬から11月下旬までの週末（土曜・日曜・祝日）および夏休み・ゴールデンウィークなどに1日1往復だけである。

ツアー初日、朝6時に和歌山駅から「くろしお」に乗り、新大阪で新幹線に乗り換え岡山まで。その後、バスで広島イベントを見学しながら山口まで行った。翌日、新山口駅から津和野までSLやまぐち号に乗り、その後バスと新幹線で新大阪まで帰ってきた。あと1時間くらい家でたどり着けると思っていたら、他の電車の事故で約1時

今年の年男

間車内に閉じ込められた。結局、夜中12時ごろ和歌山に帰ってくる事ができた。考えてみたら、2日間フルに乗り物に乗っていたような・・・。

ただ、私自身も汽車に乗るのが初めてで、蒸気を上げ、汽笛をならす汽車に興奮していたような気がする。息子が電車好きでなければ、汽車に乗ってみようとは思わなかったかもしれない。良い体験ができたと思っている。全国には他にも蒸気機関車がいくつも走っているようだ。また、機会を見付け乗りにいってみようと思う。

さて、今年3回目の年男となり、36歳になる。18歳で愛知から和歌山に来て18年、和歌山での生活期間が愛知での生活期間を超えるという、違った意味でも節目の年である。初心

に帰り、自分自身にさらに磨きをかけられるように日々頑張っていきたいと思います。



SLやまぐち

支部行事風景



平成 24 年 12 月 6 日
年末意見交換会
(ホテルアバローム紀の国)



平成 24 年 11 月 17 日
税を考える週間
(ガーデンパーク和歌山)